

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・児童が目が届く範囲が確保されており死角となるものが少ない。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		・基準の配置はできているが、日によってばらつきがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			・活動室内はバリアフリーとなっている。 ・一部狭い場所がある。(台所へ繋がる段差)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	4	・無回答1 ・外部評価は行っていない。今後行う必要性を検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		・定期的に事業所内で勉強会などを行っており、資質の向上に努めている。 ・社内全体での研修は開催できていない。今後は定期的に行う必要がある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	1	・利用児に合ったアセスメントツールを検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・毎月、活動プログラムを職員で話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・月の行事や内容が同じようにならないように考えている。 ・時季に合わせた活動プログラムを組み込むことができている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			・毎日、一人ひとりの課題を決めて支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・随時報告を行うように心がけている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4		・全員そろっては難しいため、なかなか話合えないときもある。 ・随時報告をするように心がけている。 ・できるだけ多くの職員で短時間でも振り返りができるように時間を作っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・個人記録を書き、特記事項がある場合は色分けしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		・無回答1	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3			・今年度はケア児はいないが、主治医等を必ず保護者へ聞き、急変時の対応は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1		・児発管を中心に情報共有する機会を設けていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5			・他事業所へ移行する児童が今年度いなかったため ・今後、卒業児がいる場合は児発管が中心に移行先に情報提供する資料を作成し、いつでも提供することができるように体制を整えていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	1		・助言や研修を受けている職員に差がある。 ・全職員が研修等を1回以上受けられるように勤務を考慮していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	1		・長期休みなどは何度か利用している。 ・平日でも時間に余裕がある日は児童館を利用できるように活動予定に組み込んでいく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	2		・保護者から相談を受けた際にどの職員が対応しても保護者支援ができるように専門性を強化していく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	1		・行事以外で集まることは少ない。 ・保護者会は開催できていないが、イベント時に交流を行っている。 ・イベントを含めて年に3回以上保護者が集まることのできる機会を作っていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・毎月、お便りを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	3	・大きな行事を開催していない。 ・時々、高齢者施設に訪れふれあいを持っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年に数回、想定を変えて避難訓練を行ったり、日頃から避難所等へ行く練習を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・虐待セルフチェックの記入や虐待防止研修を事業所内で行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			・身体拘束に繋がる支援はできるだけしないように対応等を職員間で話し合う機会を多く取っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	1	・現在アレルギーの児童がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3		・職員同士でもヒヤリハットに繋がる支援を見かけた時は言い合える環境を整えていく。